

おもてなしCHIBAプロジェクト in 九十九里・外房
～ひまわりと笑顔で結ぶオリンピック～

1 概要

県民参加により、東京オリンピック・パラリンピックに向けた「おもてなし」の機運を高めるため、「おもてなしCHIBAプロジェクト」の第二弾として、地域の子どもたちが育て、種を引き継ぎ、広めた「ひまわり」で、大会開催時に会場周辺を装飾して、「おもてなし」の心で選手・関係者、観客を迎える。(参画プログラム認証済)

2 実施内容

(1) 実施期間

平成30年3月(種渡し式)～平成32年8月(大会終了)

(2) 実施主体

千葉県及び九十九里・外房地域16市町村

(育成は16市町村の幼稚園・保育所、小中学校、高校、特別支援学校の児童・生徒等)

(3) 内容

- ① 一宮町(保育園)で収穫された「ひまわり」の種を九十九里・外房地域16市町村の幼稚園・保育所、小中学校、高校、特別支援学校等に配付し、学校の花壇等で育てて種を収穫し、次年度さらに多くの学校等に配付することで、参加の輪を広げていく。
- ② 大会開催時、JR上総一ノ宮駅前ロータリー、会場までの輸送ルート、会場周辺等にひまわりを植栽、装飾し、「おもてなし」の心で選手・関係者、観客を歓迎する。

3 スケジュール

【平成29年度】 ～事業概要の決定・発表～

3月22日 県の「おもてなしシンポジウム」において、種の受領式を実施
(いちのみや保育所の園児から知事へひまわりの種を提供)

【平成30年度】 ～育成開始～ (16市町村の学校等においてひまわりの育成開始)

5月に種まき、7月下旬開花(オリンピック2年前イベントでお披露目)、9月に種を収穫予定

【平成31年度】 ～育成主体の拡大～ (学校、事業者・団体等、育成主体を拡大)

【平成32年度】 ～大会における「おもてなし」～ (会場周辺、地域・学校で育成・装飾)

4 大会後の展開

- ・16市町村の学校・地域において、「おもてなし」のひまわりを継続して育成
- ・会場周辺において、地元団体、サーファー、周辺市町村等の協力により、ひまわりの育成をはじめとした環境美化による「おもてなし」の取組を継続して実施

みんなで作ろう!

ひまわりと笑顔で結ぶオリンピック

オリンピックに向け、ご自宅でひまわりを
咲かせてみませんか?

いちのみや保育所の児童が育てたひまわりの
種を配付いたします!



いちのみや保育所作成

- (実施主体) 各ご家庭・商店など
(実施内容) オリンピックの開催に向け、いちのみや保育所の児童が
収穫したひまわりの種を各ご家庭で育て、一宮町をひまわり
でいっぱいに彩りましょう!
(種の配付場所) 一宮町役場オリンピック推進課

【問い合わせ先】

一宮町役場オリンピック推進課
TEL:0475-42-2180